

第3回まちづくりと野川に関する懇談会の概要

第3回懇談会は下記のとおり野川の上流部から国分寺市域の野川流域のまち歩きを行いました。市民環境活動団体のご協力をいただき過去から現在の野川流域のお話を伺いました。参加者の皆さんに参加票をお配りしてご意見や感想を伺い、まちづくりと野川について多数のご意見を頂きました。

○ 開催概要

- ・ 日 時：平成 29 年 3 月 18 日（土）午前 9 時 30 分～12 時 30 分
- ・ 場 所：押切橋～鞍尾根橋
- ・ 参加者：市民 12 名（案内者等を含む）（事務局 4 名）

○ 主なご意見等

項目	ご意見・ご感想
災害に強い まちなみの 形成	<ul style="list-style-type: none"> ○各地で頻繁に起こる災害を踏まえると避難場所が必要であると思います。 ○野川の拡幅，樹木の植栽により災害に強いまちづくりを望みます。 ○川沿いを歩くことができれば避難路になり，火災の延焼防止にもなります。 ○地震等で必ず水の被害（火災も含め）があります。河川の整備の急務を感じました。
緑豊かな空 間の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○鞍尾根橋まで改修が終わり 12 年一步も進んでいません。コンクリート護岸のままなので，緑と自然に囲まれた空間をつくっていただきたい。 ○河川敷に緑を植えることにより豊かな空間の形成になると思います。 ○鞍尾根橋で小金井市区域の河川の緑化をみて国分寺市区域との差に愕然とした。何とかしないとならないと思います。 ○緑の豊かな整備について住民と話し合いをしてほしい
良好な住環 境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ○住環境の形成は重要だが，地域の特性を踏まえ，その地域の理解と合意が必要です。 ○宅地開発が進む中，国分寺崖線の緑が年々減少している。鞍尾根橋下流では子どもが遊びホタルも飛んでいる。国分寺市内もそのようにしてほしい。 ○緑豊かな自然と一体になった良好な環境をつくってほしい。 ○水路跡を守り緑豊かにしてほしい。
地域の魅力 を守り・高 める	<ul style="list-style-type: none"> ○国分寺市の魅力は歴史と文化，崖線の緑と湧水，野川を昔のような自然に返すことで地域の魅力を守り高めてほしい。 ○魅力を高めていくには住民の理解を求めていく必要があります。 ○国分寺の水の魅力を強調した計画を考えてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○懇談会に一般市民の参加が増えればよいと思います。 ○事業を進める前提として，市民参加・参画が重要と思います。 ○まちづくりはハード面だけでなくソフト面も配慮が必要。広い周辺の地域を含めた観点のまちづくりが必要と思います。 ○排水路として汚水を流したコンクリートの水路のままになっておりこのまま次世代に残せない。市民のコンセンサスを獲得する工夫をして東京都へ伝えてほしい。 ○野川の現状を理解し，今後を考える観点から，話合う時間を設ける企画を進めてほしい。